

温室効果ガス排出量 検証報告書

2026 年 8 月 21 日

西本 Wismettac ホールディングス株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

西本 Wismettac ホールディングス株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{※1}における 2025 年温室効果ガス（GHG）排出量算定結果（以下「算定結果」という。）に記載の 2025 年（2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ 1 GHG 排出量

- ・ 算定対象における天然ガス、ガソリン^{※2}、軽油の使用に伴って直接的に排出される CO₂ 排出量
- ・ フロン類漏洩に伴って排出される GHG 排出量

2) スコープ 2 GHG 排出量

算定対象における電力の使用に伴って間接的に排出される CO₂ 排出量

3) スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 3, 5, 6, 7^{※3}において排出される CO₂ 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法^{※4}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定結果を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定結果に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements) の要求事項に従って GHG 排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定結果に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、データ収集手順、及び、関連資料の確認を事業者の本社訪問を含め実施
- 算定結果の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- Wismettac Asian Foods, Inc. Los Angeles Office (Corporate Headquarters) への WEB 経由による算定担当者へのインタビューにより算定データ、データ収集手順確認
- GHG 排出量情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定結果に記載された 2025 年の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

検証された温室効果ガス排出量 (t-CO ₂ e)	
スコープ 1	14,295
スコープ 2 (マーケット基準) ※5	5,951
スコープ 2 (ロケーション基準) ※5	6,168
スコープ 3 ※6	1,762
スコープ 3 内訳	
カテゴリ 3	53
カテゴリ 5	256
カテゴリ 6	1,340
カテゴリ 7	113

NOTE:

※1：スコープ、カテゴリ毎の算定対象を以下に示す。

○ スコープ 1 (フロン類以外)、スコープ 2：

- ・西本 Wismettac ホールディングス株式会社：東京本社、神戸本店
- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス
- ・Wismettac Asian Foods, Inc.：
 - ・アメリカ：Los Angeles Office (Corporate Headquarters), Arizona Office, Atlanta Office, Chicago Office, Dallas Office, Denver Office, Hawaii Office, Houston Office, Las Vegas Office, Miami Office, New York Office, Orlando Office, Sacramento Office (Satellite Office), San Diego Office, San Francisco Office, Seattle Office, Washington, DC Office
 - ・カナダ：Montreal Office, Toronto Office, Vancouver Office

○ スコープ 1 (フロン類)：

- ・Wismettac Asian Foods, Inc.：
 - ・アメリカ：Los Angeles Office (Corporate Headquarters), San Francisco Office

○ スコープ 3 カテゴリ 3, 6, 7：

- ・西本 Wismettac ホールディングス株式会社：東京本社、神戸本店
- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス

○ スコープ 3 カテゴリ 5：

- ・Wismettac フーズ株式会社：東京本社、神戸本店、神戸支店、大森オフィス

※2：ガソリンの使用：北米の社有車により使用されたガソリンは算定に含まれない。

※3：スコープ 3 の各カテゴリの概要

- カテゴリ 3 (スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)：国内の算定対象で使用した燃料、電力を対象
- カテゴリ 5 (事業から出る廃棄物)：Wismettac フーズ株式会社の青果部門から出る産業廃棄物を対象
- カテゴリ 6 (出張)：国内の算定対象の役員及び従業員の出張を対象 (宿泊を含む)
- カテゴリ 7 (雇用者の通勤)：国内の算定対象の役員及び従業員の所属拠点への通勤を対象

※4：スコープ 1, 2, 3 の算定方法：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.8)」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース (ver.3.6)」、及び、事業者が作成した「算定手順書」

※5：電力の排出係数

- ・マーケット基準：国内は電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用、また、非化石証書を使用
アメリカは EPA eGRID 2023 Revision 2 Subregion Data、カナダは IEA Emissions Factors 2023 を使用
- ・ロケーション基準：国内は一般送配電事業者の基礎排出係数を使用、アメリカ、カナダは上記と同様
- ・熱使用量：ビル運営会社等から料金請求があるが熱使用量の記載がなく算定に含まれない。

※6：スコープ 3 の値(t-CO₂e)は各カテゴリの小数点以下も含めた合計値

以上